

七ヶ宿ダムの洪水調節効果(速報)

～ 台風19号に伴う出水での七ヶ宿ダムによる効果 ～

10月12日の台風19号による降雨に伴う出水は、ダムに流れ込む水の量が1秒間で517.8立方メートルにまで達し、七ヶ宿ダムの管理史上第3番目の出水となりました。

七ヶ宿ダムでは、今回の出水においてダム下流に流す水の量を最大流入量時約500m³/sの調節を行い、合計で約1,000万立方メートルの水を貯め込みました。

○ダム下流の河川水位の上昇を緩和

阿武隈川下流 岩沼地点での河川水位を約20cm低減することが出来たと推定されます。

(参考) 七ヶ宿ダムにおける
出水(流入量)規模順位

	年月日(原因)	流入量
第1位	H14. 7. 11 (台風6号)	620m ³ /s
第2位	H 5. 8. 27 (台風11号)	541m ³ /s
第3位	R01. 10. 12 (台風19号)	518m ³ /s (※今回)
第4位	H26. 7. 10 (台風8号)	506m ³ /s
第5位	H10. 9. 16 (台風5号)	445m ³ /s

<発表記者会：仙南記者クラブ>

問い合わせ先

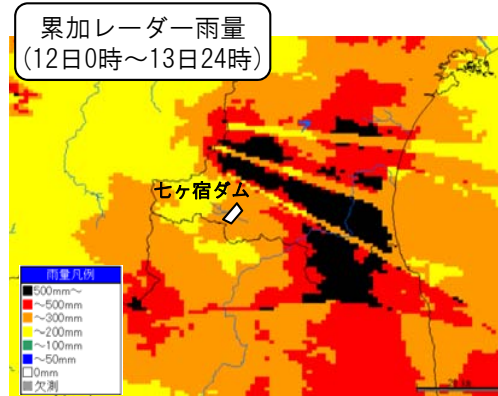
国土交通省 東北地方整備局 七ヶ宿ダム管理所
TEL 0224-37-2122 FAX 0224-37-2471
ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>
管理所長 高橋 一(内線201)
専門職 工藤 勝(内線330)

七ヶ宿ダムの治水効果(阿武隈川下流_宮城県)

- 台風19号に伴う降雨により、七ヶ宿ダム地点の累加雨量は179mmに達し、**最大流入量は毎秒518立方メートル** [管理開始(H4)以降第3位] を記録しました。
- ダム下流への放流量を最小限にとどめ、ダムに流れてくる水量を(約10.0百万m³※東京ドーム約8個分)を最大限貯め込み、ダムが無かった場合に比べ、ダム下流の岩沼地点(宮城県岩沼市)の河川水位を約20cm低減**することが出来たと推定されます。



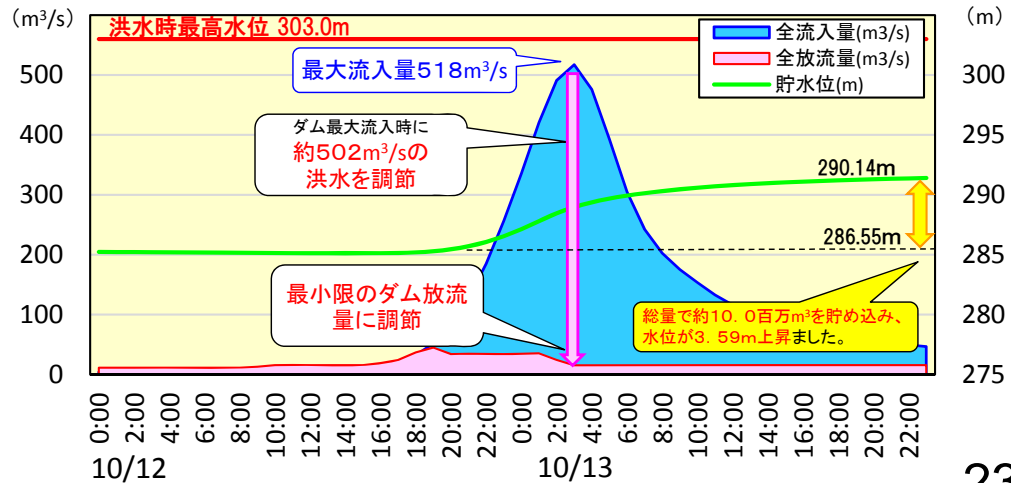
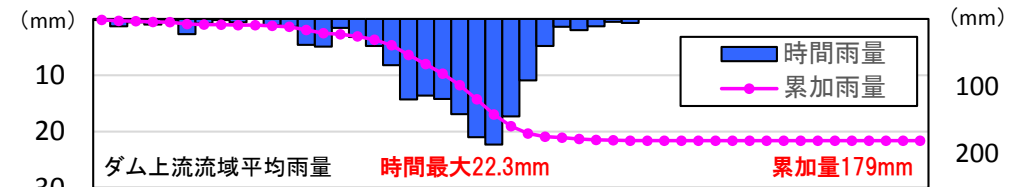
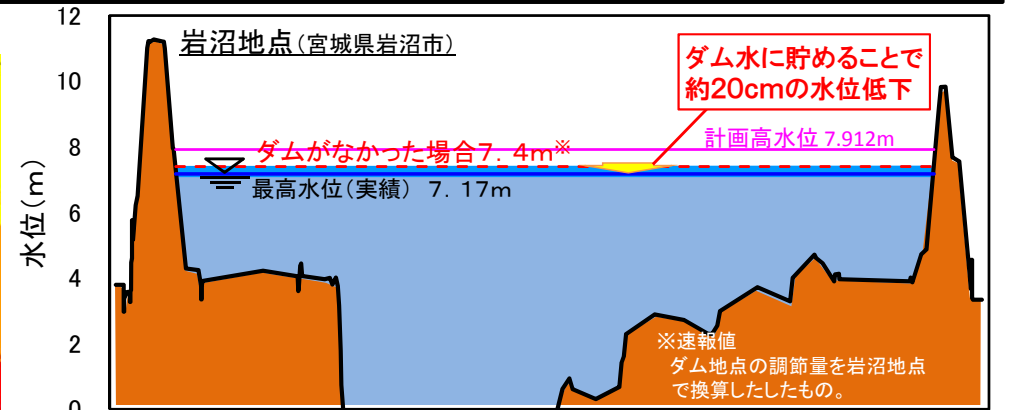
七ヶ宿ダム諸元 (国土交通省管理)	
型式	ロックフィルダム
ダム高	90.0m
堤頂長	565.0m
総貯水容量	109百万m ³
有効貯水容量	99.5百万m ³



10月12日 15:00



10月14日 9:00時点の貯水位



※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性あります。